県立長野図書館3階フロア改修工事機械設備工事

I. 工 事 概 要		② 使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、 監督職員の承諾を受ける。		資料提出の省略について記載し	た調書を作成し、	26 管 の 埋 設 表 示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの笛所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分 は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。			復帰方式 (・遠隔 ・) JIS又はJV (・5 K ・ 1 0 K (図示部分))
1. 工 事 場 所 <u>長野市若里</u>		監管職員の承銘を受ける。 ③ 施工条件明示項目 公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」						接水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。	1 1	12 温 度 計	
2. 建 物 概 要		④ 化学物質を発散する 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するも				検査対象 配管 煙道		13 圧 力 計			
建物名称 工事種別 構造 階 数 延日	建 策 材 料 等 のとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボー			非破壊検査	抜取率 ・標準仕様書による 検査の種類 ・RT ・PT又はMT			コック付とし、形式及び取付部は図示による。 制御盤には(・給油ポンプ制御 ・満油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御			
長野図書館 改築 RC造 B1+3F+PH1 59(07. 213 m²				上げ塗材及び壁紙は、ホルムアル		28 塗 装	下記の金属電線管は塗装を行う。		10 May 100 107 107 435 102	・滅油警報 ・)の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線
			か、発散が極めて少な			70 W 12 W 12 W 12 W 13 W 14 W 15		・屋外露出・()の屋内露出			は製造者の標準仕様とする。
			2)保温材、繊衡材、断熱 ものとする。	材はホルムアルテヒ	ド及びスチレンを発散しないか、	、発散が極めて少ない		下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。 ・倉庫		1 ダ ク ト	・低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト
				n ー ブチル 及 び フタ ノ	レ酸ー2ーエチルヘキシルを含す	有しない難揮発性の可	29 機器の基礎 及び	機 器 基 礎 振動絶縁効率			・アングルフランジエ法 ・スパイラルダクト
3. エ 事 種 間 (●印を付けたものを適用する) 建 物 別 エ	事 内 容		塑剤を使用し、ホルム が極めて少ないものと		v、キシレン、エチルベンゼン 8	を発散しないか、発散	振動絶縁効率	遠 心 送 風 機 ・標準基礎 ・防振基礎 ・%以上・ 空 調 用 ポ ン プ 及び ・標準基礎 ・防振基礎 ・80%以上・	•		・コーナーボルト工法(・共板フランジ工法・・スライドオンフランジ工法)
工 事 種 目 本館棟 3 階 屋 外					レン、エチルベンゼンを発散した	ないか、発散が極めて		空 調 用 ポ ン プ 及び ・標準基礎 ・防振基礎 ・80%以上 ・	换		・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き (・要・不要) ・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
● 空 気 調 和 設 備			少ないものとする。					揚 水 用 ポ ン プ 及び ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 80%以上 ・	気い	2 風量測定口	取付位置は図示による。
〇 冷 暖 房 設 備 〇-式 〇-式 〇 暖 房 設 備 〇-式 〇-式			5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムフルデヒドを参数したいか、参数が編めて小たいものとする			の他什器等は、ホルム		小形給水ポンプユニット	備	3 ダ ン パ ー	空気調和設備の該当項目による。
● 換 気 設 備 ●-式 O-式 O-式 O-式			アルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒ			Dを、ホルムアルデヒ	30 電 線 類	- 別図による。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1. 5. 1、表4. 1. 1 1 による。		4 排丸タグトのシール 5 チャンパー	・浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 空気調和設備の該当項目による。
O 排 煙 設 備 O-式 O-式 O-式 O-式			ドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のも					既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。			自家発用換気ダクトが自家発室外を通過する場合の耐火措置は図示による。
○ 自 動 制 御 股 備 ○ 一式 ○ 一式 ○ 一式 ○ 一式 ○ 一式 ● 衛 生 器 具 股 備 ● 一式 ○ 一式 ○ 一式 ○ 一式 ○ 一式					身が無い場合は第3種のものを6	吏用するものとする。		標準仕様書第2編によるほか下記による。			
● 給 水 設 備 ● -式 O -式			ホルムアルデヒドの発散量	該 ①JIS及びJASの F☆☆☆	当 す る 建 築 材 料		消音内貼り	輸水管、給湯管、冷温水管等の管、パルブ(グランド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空 調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。		1 ダ ク ト2 排煙口の形式	・ 亜鉛鉄板 ・
排 水 股 備●一式○一式					0条の7第4項による国土交通大臣	認定品					・ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要)
● 給 湯 股 備 ● - 式 ○ - 式 ○ 消 火 股 備 ○ - 式 ○ - 式				③下記表示のあるJAS規格				除く。	備	(開放及び復帰方式)	
O ガ ス 設 備 O-式 O-式			規制対象外	a 非ホルムアルデヒドb 接着剤等不使用	系接着剤使用			・換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・・ ・外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・		4排煙風量測定	「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」 ((財)日本建築設備昇降機センター) の排煙風量 の検査方法に準ずる。
O 給 油 設 備 O-式 O-式			AT 101 A3 84 A1		系接着剤及びホルムアルデヒドを放抗	散しない材料使用		・排気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・		1 中央監視制御装置	・有り・無し
○ 厨 房 機 器 設 備 ○一式 ○一式				d ホルムアルデヒドを	放散しない塗料等使用			・還りダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・		2 中央監視制御装置	図示による
O 実験実習器具設備 O-式 O 浄化槽設備 O-式					「系接着剤及びホルムアルデヒドを放射 「系接着剤及びホルムアルデヒドを放射			・膨張タンクよりポイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。	自御	の構成・機能	
O O-式 O-式				f 非ホルムアルテヒト ①JIS及びJASの F☆☆☆	「系接着剤及びホルムアルデヒドを放射 規格品	以しない宝科寺世用		・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。 ・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。	動設	□ 电刈町表工争の配線	使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表 1. 5. 1 表 4. 1. 1 1 の使用 電線類の規格による。(機器、盤類は除く)
4. 設 備 概 要 (〇印を付けたものを適用する)			第三種		0条の5第3項による国土交通大臣!	認定品		・全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・	南明備		屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。
方 法 及 び 種 別 設	備 概 要	•	=					保温種別は下記による ・ イ (・1 号・2 号) ・ ロ			天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。
空 調 方 式 ①中央方式単一ダクト・		⑤ ペーストシール剤	飲料水管系に使用されて	いるペーストシール剤	は、室内汚染に係る揮発性化合	1物に指定されている		ダクト ・イ (・1号 ・2号) ・ロ 冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・イ ・ロ	\vdash	1 大 便 器 洗 浄 弁	・パキュームブレーカー ・不凍結装置付 ・低圧フラッシュパルブ ()
冷暖房方式・	· · ·	_ -	下記の物質を材料及び製造	造工程に使用されてい	いないこと。			機器・イ・ロ		2 大便器ロータンク	・水抜き装置付
暖 房 方 式 ・温風暖房 ・温水	暖房 • FF暖房 •				v エン、キシレン、エチルベンゼ			給水管・ハ・ロ(凍結防止帯巻部分)		3 温水洗浄式便座	加熱方式(・貯湯式・瞬間式)
換 気 方 式 ①局所換気 ①中央	方式		パラジクロロベンゼン、 フタル酸ジー n ーブチル		Iルピリオス、フェノブカルブ、 エチルヘキシル	ッ 1 アンノン		排水管 ロ ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・	衛	4 小便器洗净弁	温風乾燥機能(・有 ・無) 擬音装置(・有 ・無) リモコン(・有 ・無) ・不凍結装置付・感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式(・埋込 ・露出)
給 水 方 式 ·水道直結式 ·加圧式	ま ・高置タンク式(・上水 ・井水)	6 電気保安技術者	電気保安技術者を設置する					・排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。	1 # 1	⑤ 水 栓	・ 節水固定コマ(・ 寒冷地対応形 ・)
○建物内汚水、雑排水 (⊙分	う流 ・合流)	⑦技能士の適用		空気調和機器(1.2)) ○熟絶縁(1.2) ・建築	を板金(1.2)		なお仕様はd(ハ)とする。	具	6 洗 面 器	・止水栓付
排 水 方 式	ł流 ⊙合流)	★ 8 監 督 員 事 務 所 9 工事用電力・用水等	・設けない ・設ける このT車に必要なT車用!	雷力 田水 誅手締ち	などの費用は請負者の負担とす	- A		(・排水トラップ ・鉛管 ・鋼管類 ・ビニール管 ・ドレーン管 ・ ・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。		7 標 記 板 8 大便器耐火カバー	・取付箇所(・大便器 ・小便器 ・) 材質(・陶器製 ・) ・設ける(ピット内は除く) ・設けない
浄化槽 (・合併 ・単独	±)	10 足場・さん橋類			使用できる。 ○本工事で負担			(・屋内消火管・水抜きできない管・スプリンクラー配管・)	備	- 715 = 117117	
放流先 ⊙公共下水	k ·	a .	・改修工事標準仕様書第					・圧カタンク、膨脹水槽、各種呼水槽等鋼板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。			
消 火 設 備 の 種 別 ・屋内消火栓設備 ・消火	器	□ ①資材の保管	内部仮設足場等(・ 資材の保管は必ず屋根を)) ・外部仮設足場等(・ 『台に乗せる	種 • 種)		・大便器は保温する。 ・共同溝の保温種別 (・ピット内に準ずる ・)			
ガ ス の 種 別	KJ/Nm ³ 、供給事業者名:	12 建 股 発 生 土			・構内指定場所にたい積 ・	構外搬出適切処理		・ダクトの保温外装は下表による。		1 量 水 器	・親メーター (・貸与品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 液化石油ガス (発熱量 100,000 KJ/Nm°)		13 埋め戻し土・盛土						区分保温外装		2量水器桝	・水道事業者指定品(・貸与品 ・買取り) ・標準図MC形
5.指定部分・無 有(指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)			注 根切中の山留め ・有 () ・無 理 工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を			-					JIS又はJV · 水道直結部分 (・10 K ·)
対象部分: π = 1. = 1. = 1.		0 20 = 1. 72 =	作成し提出する。					居室・廊下など カラー亜鉛鉄板		5 給 水 勾 配	・不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
Ⅱ.設計者 □ 設計		-	(1) 引渡しを要するもの		ナム し 11 寒 10 m m + 7 = し)		屋外露出、多湿箇所 ・ステンレス鋼板 ・	備	6 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
事務所名 管理技術者		Ą	(3)特別管理産業廃棄物		法令により適切に処理すること。	•		New York		1 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。
	有理权制有 久米 勇一				- ト塊 、 アスファルト塊 、木 くず 、金属 くず	ず、塩ビ管、)		区分 保温外装	•	② 排 水 勾 配	屋内 ○65A以下は1/50、75A以上は1/100以上 屋外 · 1/100以上 ·
宮本忠長建築設計事務所		16 文 字 入 名 札 等		. 4によるほか、パル	, ブ類等は必要に応じて合成樹脂	1製名札をステンレ			水備	3 滿水試験継手	図示の箇所に取付ける。
主任担当技術者	担当技術者	17 取 扱 説 明 板	ス線等で取付ける。 機器等の取り扱い方法及1	び重要な定期点検項目	等を書いた取扱説明板(アクリ	リル樹脂製、文字彫				4 17/1 - 1794 、 /2 02/04	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
意匠担当			込み程度)を設ける。大	きさは、約 m	らとする。			屋外露出、多湿箇所 ステンレス鋼板	•	① 弁 類	JIS又はJV (◯5K · 10K (図示部分))
	宮本忠長建築設計事務所 本荘 奎菜	[18 総 合 調 整	○風量調整 · 水量調整		B度測定 ○騒音測定 Ⅰ(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素:	工作工作社会会		/ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	給設湯備		
構造担当					i(一般和固、入腸固、明酸態至素。 味、臭気、色度、濁度) ・トルエ			・冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化粧ケースの材質は図示による。 区 分 保 温 外 装	700 810	1屋内消火栓箱	· H B - 1 A · H B - 1 B ·
			飲料水の水質の測定は「	厚生労働大臣登録水質	『検査機関とする。			屋内露出・保温化粧ケース	消設	2 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
積算担当		19 容量等の表示			以上とする。 則として表示された数値以下と [、]	+ 5	33 陆 浦 促 湿	屋 外 露 出 ・ステンレス銅板 ・保温化粧ケース ・屋外露出部 (給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、	火備	1システム	・ドライシステム・
江島積算 江島 伸二		20 耐 震 措 置			付け、取付又は支持を行う。	7 0 0	00 10) 50 10	弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。			概略寸法とする
電気設備担当			耐震措置の計算及び施工に	方法は、次に掲げる事	「項以外、すべて「建築設備耐震			・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、	機備		
宮本忠長建築設計事務所 金森 春樹					は研究所・独立行政法人建築研究 面を有する水槽その他の貯槽に			弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は32に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。()		1 充 て ん 容 器 2 集 合 装 置	- 別途 (・50kg ・) - 標準図 施工72による 本組。
機械設備担当担当					画を有する水相での他の別相に B度を乗じたものとする。地域係		③ 試 験	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。	0	3 転倒防止等	・標準図 施工73 (・(a) ・(b)) による
鈴木設計事務所 鈴木 達志 宮	官本忠長建築設計事務所 宵野間 文行				耐震安全性の分	類	or w = + · · = ·	(2)新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。		4 4 - 9 -	・親メーター (・貸与品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅲ. 工 事 仕 様			設置場所	・特定の施設 (・ 重要機器	甲類 ・乙類) (・) 一般 の 一般機器 重要機器	D施設 (乙類) 一般機器	35 他工事との取合い 36 そ の 他	配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による。 保険等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。		5 ガス漏れ警報器 6 引 込 負 担 金	・本工事 (図示による) ・別途工事 ・要 (・別途工事 ・本工事) ・不要
1. 共 通 仕 様				2.0	1.5 1.5	1.0	E	(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)	備	7電気防食	・要・不要
(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣			上層階、屋上及び塔屋		(2.0) (2.0)	(1.5)				8 建物導入部配管	・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c)) による。
工事編)(平成28年版)」(以下、「標準仕様書」という。) 平成28年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「				(2.0)	(1.5) (1.5) 1.0 1.0	0.6	1 設計温湿度		\dashv	① 1. ゅん工時提出類	標準仕様書によるほか別表-2による。
版)」(以下、「標準図」という。)による。			中間階	(1.5)	(1.5) (1.5)	(1.0)	- 以 引 温 煌 及	外 気 一般系統		_	株学は株舎によるほかが表でによる。 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。
(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事	及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の			(1.5)	(1.0) (1.0)	(0.6)	空	温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH)	•	_	(管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。)
工事仕様は適用しない。 参考図書			147 -E 1875 1844	1. 0	0.6 0.6	0.4	気	夏季 °C 96	ا ج	(3) 電 子 納 品	別添「建築工事における電子納品特配仕様書(試行用)」による。
参考図書●長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成2	2.4年版)長野県建設部施設課監修		地下階、一階	(1.0)	(1. 0) (1. 0) (1. 0) (1. 0)	(0.6)	調 和 2 居室騒音限界	で 手	他	4 特別管理産業廃棄物	(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書) 特別管理産業廃棄物の処理に当たっては、廃棄物処理法に基づき特別管理産業廃棄物管理責任者:
2. 特 記 仕 様			(注) 1. ()内の	数値は防振支持の機器	の場合に適用する。		股	室 名 A 特性 (dB) N C 値		管理 責任 者	
(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適 (2)特記事項のうち選択する事項は⊙印の付いたものを適用し、			2. 〈 〉内の§ 3. 上層階の定義!	数値は水槽類に適用す は次による。	- ზ .		備		\vdash	(別表-1) 品質及が性能を	 - 有することの証明となる資料を提出する機材等
	項目特記		2~6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階				O 3 煤煙濃度計	· 設ける ·			: 有することの証明となる資料を提出する後有等 :る「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等
			重要機器とは下記に示すものをいう。				冷 4 ばいじん量測定口	・設ける (測定口は80 かとする)			·
1 機 材 等 (1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監			・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・				暖 5 煙 道 房 6 ダ ク ト	伸縮継手、掃除口及びばい煙量測定口の位置は図示による。 ・低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト	H	•	· ·
を職員の承諾を受ける。 を職員の承諾を受ける。			・犬を按用する政論・短短を終工に改直する機器・ (2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。				房 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・アングルフランジエ法 ・スパイラルダクト	F	·	· ○その他監督職員の指示によるもの
(2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この		② あと施エアンカー	エアンカー 改修工事標準仕様書第2編第5章による。				備	・コーナーボルト工法(・共板フランジ工法 ・スライドオンフランジ工法)		(別表−2)しゅんエ時提出	1物(〇印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)
証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し 監督職員の承諾を受ける。		確認試験は、・性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度 kMにて行う。 ・施工十の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー施工 **による。*(性)日本建築をと降エアンカー協立まで					7 風量測定口 8 チャンパー	取付部は図示による。 (1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。	-	1 提出書類等目録	7 官公署届出書類等
監督職員の承珠を受ける。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。		② 吊 金 物	- 施工士の適用 (第1種、第2種) あと施工アンカー施工士 による。※(注)日末建築かと港エアンカー協会副業責務 ② 吊 金 物 吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする				O - / / /	(2)空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消		2 完成図(原図・製本・	
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。		② 配 管 勾 配 給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向			う水抜き位置に向	房	音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。	3	3 設計図(原図・CADデ		
3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。		かって下り勾配とする。 ②9 管 の 保 護 コンクリート内の頻管、鉛管及び塩ビ管については、ブラスチックテーブを1/2重ね1回巻きと			設	(3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは、雨水の滞留のないように施 エする。	4	4 工事施工関係書類	10 試運転用油等 () の納品書写		
り太下寺で走めかめる場合は、てい計判、総刊、総定又は光計を収得していること。 5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。		(4) 官 の 保 護 コンクリート内の綱官、知官及び堪と官については、プラスチックテーノを1/2里ね「回巻さとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により流下防止措置をする。				備 9 防煙ダンパー	(・遠隔・)		5 工事完成資料	11 その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの	
6)販売、保守等の営業体制が整えられ	ていること。なお、システムとして機能するものにあって	25 管 の 埋 設 土中埋設管(排水合む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは mmとする。又、ガス管の埋設深さは mmとする。				定格入力は、D C 24 V 、0.7 A 以下とする。		6 保守管理資料			
は、システムの構築能力があり、現	場での施工体制が整えられていること。		給水管、消火管の埋設深	さは	「る。又、ガス管の埋設深さはL ・	mmとする。			ž	主)完成図面の種類は、設	計図面に準じて作成すること。
▲ 医眼间数套禾属	曼会	1 1	1 1	1 1	工事名	5. 声 配 网 	3階フロア改修エ	国面名称 機 械 設 備 特 記 仕 様			年月日 No. M-01
	2 4 2 5	1 1	1 1	1 1		工政却凶音路	∪ 旭 ノ 口 丿 以 167 丄	· T			H30. 9

号 長野県教育委員会



